

常任委員会

Q

A

予算特別委員会

Q

都市整備費

Q

国民健康保険事業会計

Q

総務委員会

開会日 2月19日(金)・24日
(水)・25日(木)・
3月2日(水)
案件 議案25件・陳情2件・
報告2件

定期借地権の設定について

問 旧庁舎跡地活用の契約相手方の選定には、にぎわいの創出に重点が置かれたと聞く。その後、生まれ軌を一にする国際アート・カルチャー都市構想は、施設へ反映しているのか。貸付価格に対する区の考えは。

答 新たな都市構想が生まれた段階で、事業者に構想を説明した。事業者は、そうした区の施策をよくくみ取って提案の中に入れてきた。また旧庁舎跡地の価値を見出して、高い評価をいただいたと思う。

都市整備委員会

開会日 2月22日(月)・25日(木)
案件 議案6件・報告5件

豊島区立ふるさと千川ひろば

条例

問 ボール遊び等の際、ルールを守ってもらうための取組は。

答 現在は管理員を配置している。来年度は、管理方法を含め地域の方々と協議し検討する。

問 千川小学校跡地を老人ホーム、保育園及びボール遊びのできるひろばに整備した経緯は。

答 接道状態の良い広い敷地は区内では希少であることから、地域の方々の熱心な協議・ご意見をふまえ、様々な行政需要を勘案し決定した。

区民厚生委員会

開会日 2月19日(金)・24日(水)
案件 議案4件・陳情1件・
報告10件等

東京都後期高齢者医療広域連合規約(一部変更)

問 28、29年度の保険料率は。均等割、所得割のそれぞれが上がる。年金で生活されている方が多いため、過度の負担にならないように保険料を調整している。

答 後期高齢者医療の保険料の仕組みは。全体の医療費の1割を被保険者の保険料で負担、公費が5割、現役世代からの支援金が4割になっている。

子ども文教委員会

開会日 2月22日(月)
案件 議案3件・報告6件等

としま産業振興プラザ条例

問 貸部屋の数が以前より減少する。具体的な対応策の検討は。

答 区民優先規定の設定や使用していない部屋をレイアウト変更して使用する等で対応する。

問 豊島区保育料条例(一部改正)

問 28年度から実施する保育料の負担軽減対象者と変更点は。

答 年収約300万円未満の多子世帯、ひとり親世帯等が対象。多子世帯は年齢制限を撤廃し、第2子を半額、第3子以降を無償化。ひとり親世帯等は第1子を半額、第2子以降を無償化する。

Q

予算特別委員会

Q

都市整備費

Q

国民健康保険事業会計

Q

2月12日の本会議にて、平成28年度一般会計等4会計予算及び一般会計補正予算(第1号)を審査するため、18名の委員からなる予算特別委員会を設置しました。

9日間にわたる質疑を行い、最終日の3月14日には、会派等ごとの意見表明(要旨は8面)後、採決を行った結果、一般会計予算・国民健康保険事業会計予算・後期高齢者医療事業会計予算・介護保険事業会計予算については賛成多数で、一般会計補正予算(第1号)については全会一致で原案を可決することとしました。

以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

議会費

●インターネット中継について

問 新庁舎移転後の議会中継画像の改善とアクセス数の変化は。

答 新庁舎移転時にカメラ等設備を一新し、画質が改善。昨年5月からアクセス件数は急激に増加しており、今年1月までで、前年の同時期の4倍になった。

総務費

●SNSの活用について

問 公式のフェイスブックがある区もあるが、活用の考えは。

答 ホームページでの情報提供に重きを置き、防災情報のみツイッターとフェイスブックで発信している。国際アート・カルチャー都市の実現に向けた情報の拡散の仕方について、SNSの活用も民間を巻き込んだ形でできないか検討を始めている。

福祉費

●子どもの貧困対策

問 小中学校入学時には、5万円を超える制服等購入費が必要。生活保護受給者への区の支援は。

答 小学校では4万6百円、中学校では4万7千4百円を入学準備金として支給している。

衛生費

●感染症対策経費

問 区のインフルエンザ対策は。流行シーズン前に高齢者や子どもの施設で出前講座を実施。インフルエンザの知識を周知し、感染の未然防止につなげたい。

問 ジカ熱は、デング熱と同様に蚊が媒介する。区の対策は。

答 今の季節は国内での流行の心配はないが蚊の発生時期に合わせた対策が重要。公道・公園の雨水ますへの薬剤散布や民有地の水たまり除去等、地域と協力し蚊の発生対策を行っている。

環境清掃費

●路上喫煙・ポイ捨て防止事業経費

問 路上喫煙防止看板の設置は。

答 28年度は90枚程度設置する。

問 ボランティア灰皿の効果は。

答 ポイ捨てが減り、まちが非常にきれいに保たれているという声が多く寄せられている。

都市整備費

●リノベーションまちづくり事業経費

問 数値目標は5年で100件、10年で200件とのことだが、1年目の実績が2件では少ないのでは。

答 加速的な進捗を期待。合わせて認定制度による融資条件優遇等で目標達成を目指す。

土木費

●私道排水助成経費

問 27年度から助成率を75%とした後の、利用実績の伸びは。

答 大きな伸びはない。

問 周辺には全額助成している区がある。本区も、利用実績向上のため全額助成すべきでは。

答 所有者が費用の一部を負担することにより、一定の管理責任を果たしてほしいと考えている。全額助成する予定はない。

文化商工費

●新ホールの整備について

問 総事業費が多額であるが、整備の目的と効果は。

答 これまでの公会堂と異なり、高度の文化芸術の拠点として、にぎわいを創出することで経済効果につながる。

教育費

●放課後の過ごし方について

問 補習支援チューター事業の内容と目的は。

答 放課後子ども教室のプログラムの1つで、学生ボランティア等を派遣し、補習支援を行い、個に応じた学力のレベルアップや学習習慣を身につける。

問 27年度の実績は。

答 全ての小中学校で実施し、750名を超える児童・生徒が参加。

国民健康保険事業会計

●保険料の滞納について

問 直近の滞納世帯、短期証及び資格証の発行世帯数は。

答 27年6月1日時点で滞納世帯は2万9374、短期証の発行は3951、資格証は2539世帯である。

後期高齢者医療事業会計

●保険料について

問 28、29年度の保険料率は微増で、平均保険料はマイナスとなったが、具体的な財源措置は。

答 区市町村による一般財源等の投入や都の財政安定化基金の活用等で財源を確保する。

介護保険事業会計

●地域密着型サービスについて

問 定期巡回サービスの実施状況は。

答 24年度より実施しているが、利用者は50名ほどであり、あまり広がっていない。現在、区内に3事業所を展開中。

予算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎里中 郁男 (自民党豊島区議団)
 - 島村 高彦 (公 明 党)
 - ふるほう知生 (刷 新 の 会)
 - 小林 弘明 (無所属元気の会)
 - 藤澤 愛子 (自民党豊島区議団)
 - 松下創一郎 (自民党豊島区議団)
 - 森 とおる (日本共産党)
 - ふま ミチ (公 明 党)
 - 西山 陽介 (公 明 党)
 - 芳賀 竜朗 (自民党豊島区議団)
 - 星 京子 (自民党豊島区議団)
 - 永野 裕子 (民主ネット)
 - 儀武さとる (日本共産党)
 - 中島 義春 (公 明 党)
 - 河原 弘明 (自民党豊島区議団)
 - 村上 宇一 (自民党豊島区議団)
 - 大谷 洋子 (民主ネット)
 - 渡辺くみ子 (日本共産党)